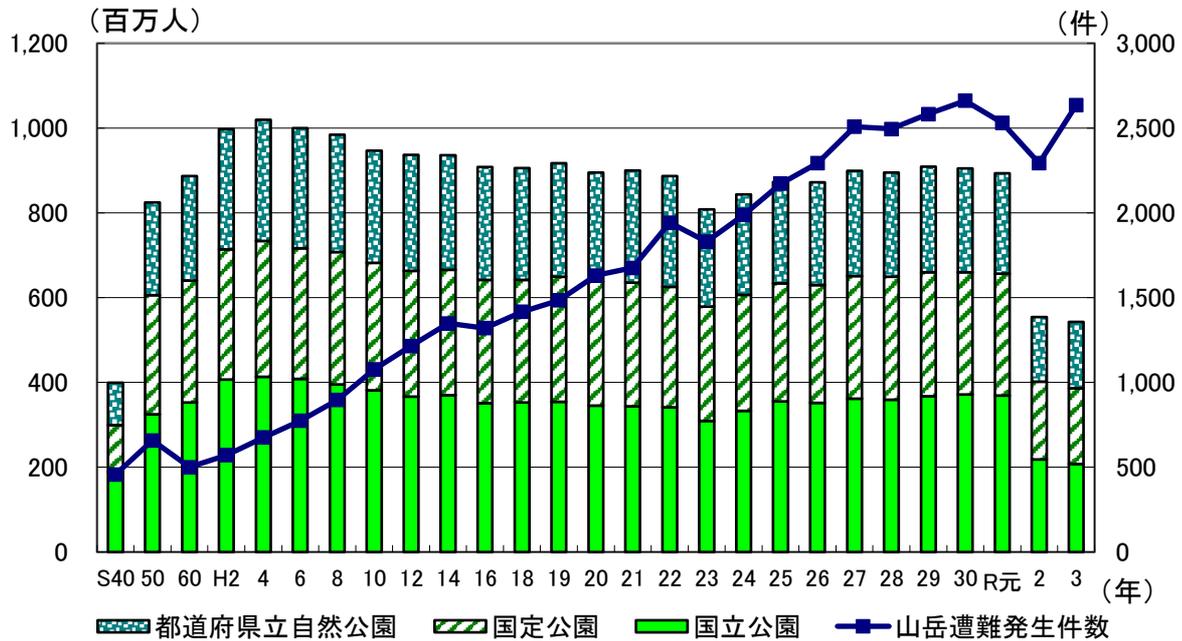


自然公園利用者数と山岳遭難発生件数(全国)の推移



「山岳遭難発生件数」は「山岳遭難の概況(警察庁)」より

解 説

【概要】

環境省の「自然公園等利用者数調」によると、全国の自然公園等利用者数は平成4年をピークに減少していたが、近年は横ばい傾向であったものの、令和2年以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に利用者数が減少しており、令和3年も利用者数は増加しなかった。

一方、警察庁の「山岳遭難の概況」によると、全国の山岳遭難発生件数は、近年の中高齢層の登山ブームと重なって増加傾向にあったが、令和元年から2年連続で減少していたが、令和3年は増加しており、10年前の平成23年(1,830件)と比べても約44%増加している。

○自然公園利用者数

1月1日から12月31日までの自然公園(国立公園、国定公園、都道府県立自然公園)の利用者数。

○キャンプ場

都道府県、市区町村、団体等がキャンプ場として指定しているもの。

○水浴場

年間利用者がおおむね1万人以上の海水浴場、及び5千人以上の湖沼・河川の水浴場。

○観光農園

農業を営む者が、観光客等の第三者には場において自ら生産した農産物の収穫等の一部農作業を体験又はほ場を觀賞させて代金を得ている事業をいう。

資料出所	調査期日	調査周期
「自然公園等利用者数調」 環境省	令和3年	毎年
「社会教育調査」 文部科学省	令和3年10月1日	3年
環境省資料	令和5年4月～令和5年6月	毎年
「2020年農林業センサス」 農林水産省	令和2年2月1日	5年